

令和元年度 2月補正予算の概要

令和2年2月13日
富谷市

1 補正予算の規模

(1) 一般会計	679,946千円を増額	補正後の額	15,661,096千円
(2) 国民健康保険特別会計	9,436千円を減額	補正後の額	4,233,109千円
(3) 下水道事業特別会計	13,410千円を減額	補正後の額	846,163千円
(4) 介護保険特別会計	13,112千円を増額	補正後の額	2,931,230千円
(5) 後期高齢者医療特別会計	1,245千円を増額	補正後の額	364,468千円
(6) 水道事業会計 収益的収入	1,138千円を増額	補正後の額	1,171,019千円
水道事業会計 収益的支出	12,526千円を増額	補正後の額	1,163,187千円

2 一般会計補正予算の概要

国の補正予算を活用し、「GIGA スクール構想の実現」に向け、小・中学校の通信ネットワーク（充電設備含む）の整備に取り組むとともに、新たに「防災マップ」の作成や「市道三ノ関大崎線」整備に着手するもの。

また、早期に事業効果を発揮するため、町内会館の修繕・改修経費を前倒し計上している。

なお、税込及び交付税等一般財源の上ぶれ額と、各事業における執行残額を財源として「臨時財政対策債」の新規発行を抑制することから、今年度末の臨時財政対策債残高については、平成28年度決算以降4年連続の減少を達成する見込みである。

3 一般会計歳入歳出（款別）内訳について

（単位：千円）

歳入（款）	補正額	歳出（款）	補正額
1 市税	157,900	2 総務費	△1,030
3 利子割交付金	△ 3,837	3 民生費	53,666
4 配当割交付金	△ 9,715	4 衛生費	37,422
5 株式等譲渡所得割交付金	△ 8,916	6 農林水産業費	5,313
6 地方消費税交付金	△ 49,095	7 商工費	△ 20,192
8 自動車取得税交付金 及び環境性能割交付金	748	8 土木費	203,099
9 地方特例交付金	△ 33,684	9 消防費	34,267
10 地方交付税	129,514	10 教育費	359,901
12 分担金及び負担金	6,095	11 災害復旧費	7,500
13 使用料及び手数料	△ 5,605		
14 国庫支出金	333,725		
15 県支出金	52,973		
16 財産収入	1,552		
17 寄附金	28,164		
18 繰入金	△ 27,707		
20 諸収入	300		
21 市債	107,534		
計	679,946	計	679,946

4 一般会計歳出の主な補正内容について

- (1) 小・中学校校内通信ネットワーク整備事業 359,543千円
【繰越明許費設定】
国が進める「GIGAスクール構想の実現」に向け、既存の校内ネットワークを次世代規格に更新するとともに、教室内にタブレット端末用の充電設備を新設するもの。
《財源：補助対象事業費⇒ 国費 1/2, 市債 1/2（後年度交付税措置 60%）》
- (2) 防災啓発事業 36,000千円【繰越明許費設定】
頻発する異常気象（台風・大雨）の発生を受け、市民に対し各種リスクの周知を図るため、防災マップの見直しに着手するもの。
《財源：補助対象事業費⇒ 国費 1/2》
- (3) 市道三ノ関大崎線道路改良事業 202,603千円【繰越明許費設定】
本路線は、国道4号の迂回路として利用されており、通行車両が増加しているが、道路幅が狭小（4m）であることから、交通の安全を確保するため、拡幅整備を行うもの。
《財源：補助対象事業費⇒ 国費 1/2 市債 1/2（後年度交付税措置 50%）》
- (4) 町内会館整備事業 10,395千円【繰越明許費設定】
「原会館」及び「日吉台一丁目会館」の屋根・外壁の塗装工事を実施するとともに、「日吉台三丁目会館」の改修工事（シロアリ対応）を実施するもの。
- (5) 災害廃棄物処理事業 86,567千円【繰越明許費設定】
台風19号被害にかかる「稲わら」に関し、いわゆる「1.5次仮置き場」での保管及び仙台市松森工場での処分に係る所要額を計上するもの。
《財源：補助対象事業費⇒ 国費 1/2, 特別交付税 1/2×95%》
- (6) 小規模保育事業 54,202千円
保育環境整備にあたり、小規模保育室設置に向けた開所準備費として対象2施設に対し、新たに補助金を交付するもの。
《財源：補助対象事業費⇒ 県（国）費 8/9》
- (7) 図書館整備基金費 8,760千円
図書館整備に関し、ガバメントクラウドファンディングやふるさと納税を通じ寄せられた寄付金について、今後の施設整備に活用するため「富谷市民図書館基金」へ積立てを行うもの。
- (8) 企画調整事務（仮称 富谷宿観光交流ステーション整備）11,600千円
【繰越明許費設定】
現在、富谷宿開宿400年記念事業の一環として整備を進めている観光交流ステーションについて、寄附を受けた「土蔵」の改修に追加費用が発生することから、所要額を計上するもの。（地方創生拠点整備交付金の充当残額を活用）